

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 9 月 21 日 (2006.9.21)

【公開番号】特開 2000-63324 (P2000-63324A)

【公開日】平成 12 年 2 月 29 日 (2000.2.29)

【出願番号】特願 平 11-226994

【国際特許分類】

C 0 7 C 67/055 (2006.01)

B 0 1 J 31/28 (2006.01)

C 0 7 C 69/15 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 67/055

B 0 1 J 31/28 X

C 0 7 C 69/15

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 8 日 (2006.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 エチレンと液体酢酸と酸素含有ガスとを流動床反応器中へ供給すると共に流動床反応器内で高められた温度にてエチレンと酢酸と酸素とを流動床触媒物質の存在下に反応させることからなり、前記触媒物質は第 V I I I 族金属と促進剤と補助促進剤の塩とからなり、前記補助促進剤の塩を反応器内に触媒の 6 重量 % までの量にて維持することを特徴とする酢酸ビニルの製造方法。

【請求項 2】 第 V I I I 族金属がパラジウムである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】 第 V I I I 族金属を触媒の全重量の 0 . 2 重量 % より大かつ触媒の重量の 1 0 重量 % までの濃度にて存在させる請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】 促進剤を金、銅、カドミウム、ニッケルおよびその混合物よりなる群から選択する請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 5】 促進剤を触媒物質における金属として 0 . 1 ~ 1 0 重量 % の量で存在させる請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】 補助促進剤を第 I 族、第 I I 族、ランタニド族および遷移金属の塩よりなる群から選択する請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】 補助促進剤をカドミウム、バリウム、カリウム、ナトリウム、鉄、マンガン、ニッケル、アンチモン、ランタンおよびその混合物の塩よりなる群から選択する請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】 補助促進剤を触媒の 3 . 5 ~ 5 . 5 重量 %、好ましくは約 5 重量 % の濃度にて存在させる請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】 補助促進剤を反応に際し触媒に添加する請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】 添加される補助促進剤を液体酢酸供給物または液体循環酢酸に添加する請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】 添加される補助促進剤を、注入手段により反応器中へ噴霧される溶

液として添加する請求項 9 に記載の方法。

【請求項 1 2】 添加される補助促進剤を水もしくは酸における溶液として添加する請求項 1 1 に記載の方法。